

第5章 地域貢献・情報発信及び管理・運営

第1節 地域貢献・情報発信

1. 現状の説明

(1) 公開講座及び一日体験入学

本研究科及び本学部の研究成果を広く社会に還元する地域貢献の方法は、本来多様であり、すでに述べてきたように、21世紀科学プロジェクト群の活動のいくつかは、社会貢献の意義を持ったものも少なくない。また本学の教員・職員が一市民として行っている活動もある。その意味で本章において点検・評価した公開講座と一日体験入学は、本研究科及び本学部の地域貢献の一部であることを最初に断っておきたい。

公開講座のテーマは、各プログラムがローテーションで担当することになっている。そのテーマは広く市民の関心を呼ぶように工夫されており、平成21年度は「心とからだの不思議」、22年度は「地球温暖化が私たちの生活に及ぼす影響」、23年度は「地域を科学する」であった。担当教員及び参加者数などは表5-1-1を参照されたい。

また一日体験入学は、本学部を受験することを希望している高校生への広報活動という意味だけでなく、広く一般社会人にも門戸を開き、社会貢献のひとつとしての意味も持っている。その呼びかけ文には「あなたも、知的エネルギーの渦巻くこの学部独特の熱い雰囲気を経験してみませんか？」とあり、本学部のユニークさを理解してもらうことを第一の目的としている。

一日体験入学の参加者はまず全員が理系教員と文系教員各1名による「講義」を受講し、その後、10の教育プログラムのうちから、5つのプログラムの教員が開く「セミナー」を、参加者の希望に応じて一つを選び聴講する。平成21～23年の実施状況は表5-1-2で示した。

(2) 広報活動

広報・出版委員会は、本学部・研究科の中期目標・中期計画・年度計画にも掲げているとおり、平成21～23年度、総合科学部・大学院総合科学研究科所属教員の教育研究活動などに関する情報を、出版物、ウェブサイト（いわゆるホームページ）などを通じて積極的に発信してきた。

出版物は、例年どおり、①研究成果、及び学位取得者の要旨を掲載する年1回の研究科紀要（3分冊、各350部程度）、年1冊刊行の叢書インテグラーレ（1,100部）、②必要な改訂を施した年1回の学部広報誌『無限への挑戦』（3,800部）、及び年1回の大学院研究科案内（1,500部）、③学部学生が編集を担当する年2回発行の『飛翔』（各2,000部）である。

なお、ウェブサイト（ホームページ）については、レイアウト及び項目などの見直しを適宜行い、改善に努めるとともに、最新情報の提供を行った。

また、平成25年度入学生より、学部カリキュラム改革を予定しており、平成23年度中に『無限への挑戦』の内容の大幅変更を行った。

2. 点検・評価

(1) 公開講座及び一日体験入学

1) 効果があがっている事項

公開講座は社会貢献を主たる目的としており、さらに一日体験入学は受験生への情報提供という意味もあわせ持っている。その意味で講師の担当者にとっては、通常の講義とは異なる困難さを伴うが、おおむね興味深い話が聞けたと総じて好評である。

2) 改善すべき事項

公開講座については、平成 23 年度において受講登録者に比べて修了証発行数が半数以下となった(表 5-1-1)。その理由については「地域」を扱ったために、受講者の関心が低い地域の講義には参加しなかった可能性もあり、教員側の問題が原因とは限らない。しかしなぜ継続的に参加した人が他の講座に比べて少ないのかについて、明確にすることができないことは問題といえる。

一日体験入学については、「総科についての理解が深まったとはいえない」というコメントがあった。たしかに本学部のすべてを一日で理解することは不可能であり、当然のコメントともいえるが、オープンキャンパスと連携させれば、より深い理解を得てもらうことは可能である。こうした点について、我々の側から情報提供する必要もあったといえよう。

(2) 広報活動

1) 効果があがっている事項

広報誌は、高等学校などに配付するとともに、入試説明会、オープンキャンパスなどで活用され、学部・研究科の教育研究活動の広報に寄与している。また叢書インテグラーレは、専門的な内容を平易に表現することを目指した教養書であり、その普及は地域貢献に資するものである。

また、ホームページのアクセス数については、表 5-1-3 のとおり年々増加傾向にある。

2) 改善すべき事項

広報活動は、短期的に志願者増加に結びつくものでは必ずしもない。しかしながら必要な検証を行い、他委員会と連携しながら、改善すべき点についてなお一層留意する必要がある。

3. 今後の方針

公開講座・一日体験入学については、担当講師が自らの講義の内容を点検・評価できるようにするだけでなく、企画そのものの統一性や市民に向けてのアピール度について検討する責任者を定めることも必要であろう。また一日体験入学については、その位置づけについてより細やかな説明も必要である。

研究科長室と連携しながら、出版物、ホームページの PDCA を継続することが大切であろう。紀要や叢書インテグラーレについては、その普及に努め、その価値を広く理解してもらう必要がある。ホームページについては、動画の活用なども含めて、戦略的に活用することが重要になろう。

さらに新プログラムへの移行を踏まえ、平成 25 年度入学生を念頭に置いた『無限への挑戦』新版についての検証と充実が求められる。

表5-1-1 公開講座

【公開講座】	年度	21年度	22年度	23年度
テーマ		心とからだの不思議	地球温暖化が私たちの生活に及ぼす影響	地域を科学する
担当教員		船瀬 広三	佐久川弘	浅野敏久
		関矢 寛史	小澤久	カロリン・フンク
		斎藤 祐見子	小野寺真一	佐竹昭
			中根周歩	布川弘
			山田俊弘	丸田孝志
			佐藤高晴	水羽信男
			海堀正博	岡本勝
			竹田一彦	青木利夫
				佐野真理子
				長田浩彰
受講者人数		31	17	50
修了者数		32	14	19

表5-1-2 一日体験入学

平成21年度

①講義

「格差社会で生きるということ」(浦光博)

「短詩型文学の魅力と可能性」(島谷謙)

②セミナー

「貧困問題について、これだけは知っておきたいこと」(佐々木宏)

「英和辞典活用法——宝の持ち腐れにしないために——」(樋口昌幸)

「サッカー文化を哲学しよう」(木庭康樹)

「暗号をめぐる闘い」(高橋浩樹)

「環境をはかる(環境分析化学入門)——正しくはかるのは難しい!」(竹田一彦)

平成22年度

①講義

「プレッシャーとパフォーマンス」(関矢寛史)

「社会の中の数理情報」(中木達幸)

②セミナー

「グローバル化と「先住民」—ラテンアメリカを学ぶ、ラテンアメリカに学ぶ」(青木利夫)

「脳死をめぐる倫理問題」(堀江剛)

「脳とところを比較心理学的に考える」(坂田省吾)

「生命と暮らしを支える酵素の話」(石田敦彦)

「量子の国のアリスとボブ—量子暗号—」(石坂智)

平成23年度

①講義

「原発事故と健康被害」(山崎岳)

「なぜ被爆国にこれほど多くの原発が生まれたのか!—原子力政策の展開から—」(市川浩)

②セミナー

「フクシマは文明の折り返し点」(町田宗鳳)

「切っても切れない「ことば」と心」(町田章)

「メンタルトレーニング」(関矢寛史)

「学習するコンピュータ」(森本康彦)

「植物生理学の最近の進歩と、それを実用に生かす試みについて」(中川直樹)

表5-1-3 総科ウェブサイト（ホームページ）アクセスデータ

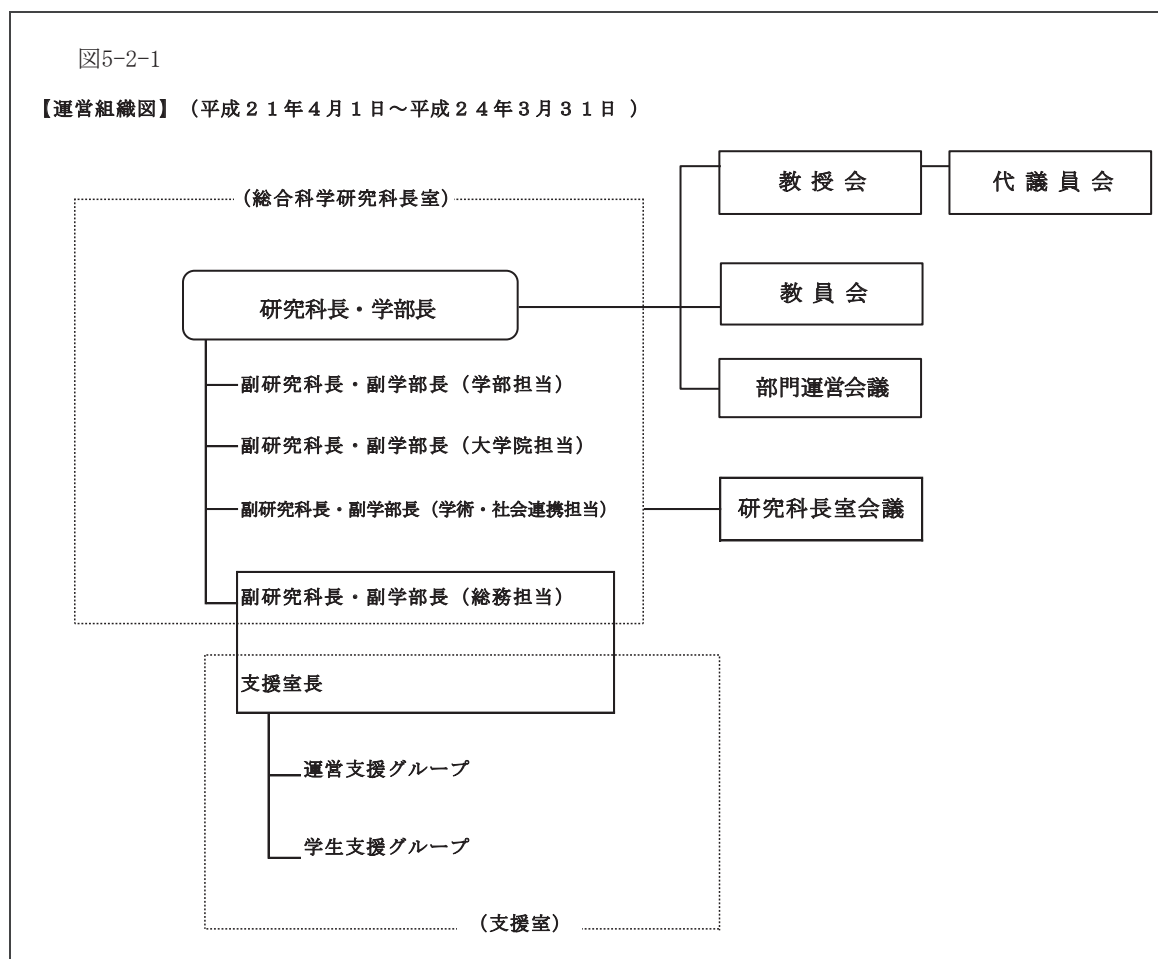
年度	月	訪問回数	ページ	年度	月	訪問回数	ページ	年度	月	訪問回数	ページ
2009年度	4月	0	0	2010年度	4月	9353	45260	2011年度	4月	10041	40875
	5月	0	0		5月	8304	40797		5月	9190	37746
	6月	0	0		6月	8110	40145		6月	9986	43212
	7月	0	0		7月	9362	46734		7月	11560	48856
	8月	0	0		8月	8001	38231		8月	9722	40400
	9月	0	0		9月	7203	36644		9月	8093	35416
	10月	6193	50155		10月	6723	38125		10月	7372	36454
	11月	6988	37826		11月	7905	33319		11月	8236	33726
	12月	5387	31425		12月	6545	33728		12月	6655	30253
	1月	7727	43791		1月	8988	43553		1月	9397	44200
	2月	4611	31118		2月	5786	32075		2月	7368	33899
	3月	5062	35255		3月	6713	40227		3月	8235	35772
合計		35968	229570	合計		92993	468838	合計		105855	460809

第2節 管理・運営

1. 現状説明

(1) 運営組織

国立大学の法人化に伴い，法人化後は，部局長の権限と責任に基づく迅速かつ的確な組織運営体制を構築するとともに，教員の管理運営に関わる業務を削減し，可能な限り教育活動，研究活動に専念できる新しい運営組織が目指され，現在は下図のようになっている。



本研究科では「部局における重要事項について企画立案などを行い，部局長を直接的に支援する」ための組織（広島大学部局運営規則第6条）として研究科長室を設置している。そのメンバーは「室長である研究科長，副研究科長，研究科長補佐及び研究科長が必要と認めた者で構成」され（広島大学大学院総合科学研究科・総合科学部運営内規第8条），その職掌を「広島大学大学院総合科学研究科長室運営細則」において，次のように定めている。

- ① 長期的な目標，中期目標・中期計画及び年度計画に関すること。
- ② 教授会などの審議に関すること。
- ③ 教育活動，研究活動及び社会貢献活動に関すること。

- ④ 国際交流に関すること。
- ⑤ 人的資源、物的資源及び財的資源の活用に関すること。
- ⑥ 規則などの制定及び改廃に関すること。
- ⑦ 危機管理及び安全衛生管理に関すること。
- ⑧ 情報ネットワーク及び情報セキュリティに関すること。
- ⑨ 教育研究活動などの点検・評価・改善及び公表に関すること。
- ⑩ 広報及び構成員の意見聴取に関すること。
- ⑪ その他研究科長室の目的を達成するために必要な業務

研究科長室は、総合科学研究科及び総合科学部における業務の企画・立案及び執行する役割を担っているため、研究科長室会議を週1回程度開催し、運営などに関する事項を審議・検討している。

(2) 審議機関

広島大学部局運営規則の第11条に基づき、広島大学大学院総合科学研究科・総合科学部運営内規の第9条で「教授会は、研究科教授会及び学部教授会とする」と定めるとともに、教授会の管理に関し必要な事項は、次の広島大学大学院総合科学研究科教授会内規及び広島大学総合科学部教授会内規において定めている。

広島大学部局運営規則（抄）

(教授会)

第11条 部局に審議機関として教授会を置く。

2 (略)

3 教授会は、当該部局における次の事項を審議する。

- ① 長期的な目標、中期目標・中期計画及び年度計画における教育、研究及び社会貢献活動に関する事項
- ② 教員の人事に関する事項
- ③ 学生の受入れと身分に関する事項
- ④ 学位の授与に関する事項
- ⑤ 教育課程に関する事項
- ⑥ 研究活動に関する事項
- ⑦ 社会貢献活動に関する事項
- ⑧ 諸規則の制定及び改廃に関する事項
- ⑨ その他部局長が必要と認めた事項

広島大学総合科学部教授会内規（抄）

(審議事項)

第3条 教授会は、次に掲げる事項を審議する。

- ① 長期的な目標、中期目標・中期計画及び年度計画における教育、研究及び社会貢

献活動に関する事項

- ② 教員の人事に関する事項
- ③ 学生の受入れと身分に関する事項
- ④ 学位の授与に関する事項
- ⑤ 教育課程に関する事項
- ⑥ 社会貢献活動に関する事項
- ⑦ 諸規則の制定及び改廃に関する事項
- ⑨ その他部局長が必要と認めた事項

各々の教授会においては、当該教授会に与えられた事項について、月1回程度開催し審議しており、部局の審議機関としての役割を適切に果たしている。

(3) 各種委員会

本研究科・本学部の運営のために表5-2-1に示したような委員会を設けている。なお本報告書のかなりの部分はこれらの委員会の点検・評価に基づいている。

(4) 教員組織

広島大学の講座，学科目，部門，研究部門など及び診療科など規則の第2条第2項「大学院の研究科に，講座を置く」に基づき，総合科学研究科総合科学専攻に5つの基幹講座（行動科学講座，人間文化研究講座，環境自然科学講座，社会文明研究講座，地域研究講座）と1つの協力講座（情報システム研究講座）を置き，専任教員を配置している。

また，総合科学部においては，広島大学の講座，学科目，部門，研究部門など及び診療科など規則の第2条第1項「学部に，学科目を置く」に基づき，総合科学科に10の学科目（地域文化学科目，社会文化学科目，人間文化学科目，言語文化学科目，行動科学科目，スポーツ科学科目，生命科学科目，数理情報科学科目，総合物理科学科目，自然環境科学科目）を置き，10の主専攻プログラムを編成して学部教育を行うために，学部併任教員を配置している。

研究科・学部の教員の配置については，各々の教育理念・目標を達成するためには，以前は適切な配置であったが，本学における教員人件費ポイントの2%減を踏まえれば，教員数は減少をたどるばかりであり，教員組織の構成が適切か否かの判断は困難であるが，組織の見直しなども含め教員の組織構成を随時検討する必要性が生じている。

(5) 事務組織

法人化にともない従来の部局事務室を見直し，部局長の権限と責任において企画立案及び執行し，部局長を直接的に支援する組織として部局長室（総合科学研究科長室）を置き，また，部局の運営を円滑に行うための「教育研究学生支援室」が組織され，部局長支援グループを置くとともに，教員の教育研究活動を直接支援する教育研究活動支援グループを配置する。学生支援は，教育室に所属する職員が，学生支援グループとして担当する。

なお，その後の運営組織の変更などは次のとおりである。

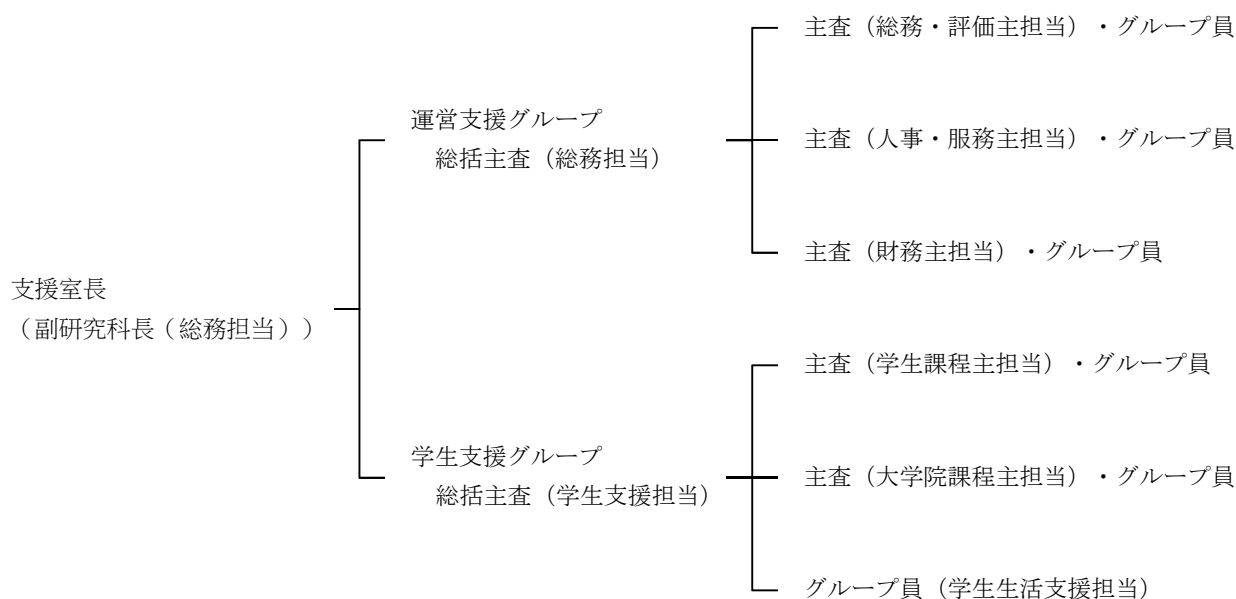
平成18年4月1日 教育研究学生支援室が「支援室」に名称変更された。

平成 21 年 4 月 1 日 副研究科長(総務担当)は支援室長をもって充てることとされた。部局長支援グループと教育研究活動支援グループを見直し、「運営支援グループ」として配置された。

平成 22 年 4 月 1 日 学生支援グループの職員が教育室所属から総合科学研究科所属に変更された。

平成 23 年 4 月 1 日現在の支援室の構成は、図 5-2-2 のとおりである。

図 5-2-2



(6) 予算・決算

本研究科の予算については、毎年度、予算配分要項（財務委員会，研究科長室会議で審議）を定め，教育経費，研究経費，教育研究経費，非常勤教員人件費，非常勤職員人件費，管理的経費により編成を行っている。

学士課程基盤教育費は，教員現員数に基づき各講座へ比例配分，教育研究基盤経費（大学院積算分）は，大学院生の海外発表支援経費として一部控除後，主指導教員へ配分し，学生の指導環境を整えている。教育研究基盤経費（研究費積算分）は，実験系，非実験系の積算単価どおりに教員へ配分し，教員の研究環境などの整備を行っている。

また，研究科独自プロジェクト（21世紀科学プロジェクト群，総合科学推進プロジェクト）については，各年度とも部局長裁量経費から措置を行い，新たに発展するプロジェクトの支援を行っている。さらに，文理融合型リサーチマネージャー養成プログラムについては，文部科学省の支援期間終了後（平成 21 年度）も，学長裁量経費及び部局長裁量経費で措置し，支援を行っている。

なお，経費の執行については，次頁のとおりであるが，毎年度各経理単位の責任者が，責任を持って，単年度で執行したり，総枠予算の利点を活かしたりして，複数年の計画的執行を行っている（以上，詳細については章末の表 5-2-1 を参照のこと）。

2. 点検・評価

役職員や主任などは本章末の表 5-2-2 を参照されたいが、本研究科・本学部の全教職員は、全学の規定に従い運営のために必要な組織を整備し、絶えざる点検・評価活動を通じて、自己改革を遂げてきた。因みに研究科長室会議は平成 21 年度で 36 回、22 年度で 29 回、23 年度は 37 回と精力的に企画・立案につとめて、また研究科教授会は毎年 20 回を、また学部教授会も 10 回を超え、丁寧な審議を続けてきた（表 5-2-3 を参照のこと）。また本研究科・本学部独自の FD も積極的に開催し、教員の知見を深めるとともに、改革のための意識を高めた（表 5-2-5）。また、支援室の各グループ等では SD を開催し、職員の能力向上に努めている（表 5-2-6）。

こうした点検活動の結果として、学部においては 1 学部・1 学科・1 プログラムとする大幅な教育組織の変更を決定し、平成 25 年度入学生から運用することとなった。

3. 今後の方針・課題など

今後は新プログラム設置にともない、想定外の事態が生じる可能性もないとはいえない。常に状況を的確に把握し、科長室会議及び教授会で適切な対応を考える必要がある。

構成員の意識を高めるといふ点からいえば、FD・SD 活動がこれまで以上に重要になるが、職員の SD に比べると教員の FD への出席率は必ずしも高いとはいえない。今後は教員一人一人が部局の発展のために自覚的に取り組む必要があり、FD の内容を一層吟味するとともに、より多くの参加者が得られるような努力が必要となろう。

<表 5-2-1 各種委員会委員名簿>

平成 21 年度

代議員会

研究科長	榎原 修
副研究科長	宇田川眞行
(学術・社会連携担当)	吉田 光演
(大学院担当)	山崎 昌廣
(学部担当)	井上 純
(総務担当)	岩永 誠
研究科長補佐	林 光緒
(部門長)	
人間科学部門	安仁屋宗正
環境科学部門	秋葉 節夫
文明科学部門	田中 暁
(講座主任)	
行動科学講座	楠戸 一彦
人間文化研究講座	青木 孝夫
環境自然科学講座	於保 幸正
情報システム研究講座	中村 純
社会文明研究講座	成定 薫
地域研究講座	田中 暁
(委員長等)	
人事委員会委員長	佐竹 昭
教務委員会委員長	吉田 光演
21 世紀科学プロジェクト委員会委員長	佐竹 昭
広報・出版委員会委員長	三木 直大

安全衛生委員会

委員長	坂田 省吾
委員	山崎 岳
	根平 達夫
	桑島 秀樹
	田中 晋平
	平山 恭之
	早瀬 光司
	丸田 孝志
	高橋 浩樹
	竹田 一彦

教務委員会

委員長	吉田 光演
委員	人間科学部門長 安仁屋宗正
	環境科学部門長 秋葉 節夫
	文明科学部門長 田中 暁
	生命科学研究領域 斎藤祐見子
	人間行動研究領域 坂田 省吾
	身体運動科学研究領域 和田 正信
	言語研究領域 安仁屋宗正
	人間存在研究領域 古東 哲明
	自然環境研究領域 於保 幸正
	総合物理研究領域 小島 健一
	情報システム環境研究領域 鈴木 俊哉
	社会環境研究領域 早瀬 光司
	文明史基礎研究領域 平手 友彦
	地域研究領域 要田 圭治
	21 世紀科学プロジェクト委員会委員長 佐竹 昭

21 世紀科学プロジェクト委員会

委員長	佐竹 昭
委員	(副研究科長(大学院担当), 教務委員長) 吉田 光演
	佐竹 昭
	岩永 誠
	於保 幸正
	布川 弘
	平手 友彦

財務委員会

委員長	岡本 勝
委員	副研究科長(学術・社会連携担当) 宇田川眞行
	行動科学講座 林 光緒
	人間文化研究講座 石川 雅隆
	環境自然科学講座 浴野 稔一
	情報システム研究講座 田島 浩一
	社会文明研究講座 佐野真理子
	地域研究講座 安野 正明

人事委員会

委員長	(2次選挙)	佐竹 昭
委員	(教授会選出)	市川 浩
	〃	於保幸正
	〃	星野公三
	〃	三木 直大
	教務委員会委員長	吉田 光演
	21世紀科学プロジェクト委員会委員長	佐竹 昭
	プログラム委員会委員長	山崎 昌廣
	学務委員会委員長	林 光緒
	行動科学講座	浦 光博
	人間文化研究講座	高橋 憲雄
	環境自然科学講座	畠中 憲之
	情報システム研究講座	中村 純
	社会文明研究講座	佐藤 正樹
	地域研究講座	水羽 信男

広報・出版委員会

委員長		三木 直大
委員	人間科学部門	石川、ヒューマン
		〃
	人間科学部門	古東 哲明
	人間科学部門	船瀬 広三
	環境科学部門	東谷 誠二
	環境科学部門	近堂 徹
	環境科学部門	佐々木 宏
	文明科学部門	町田 宗鳳
	文明科学部門	青木 利夫
	文明科学部門	荒見 泰史
	人間文化プログラム	岩谷 彩子
	行動科学プログラム	岩田 賢司
	数理情報科学プログラム	今野 均
	自然環境科学プログラム	中坪 孝之

放射性同位元素委員会

委員長	放射線取扱主任者	山崎 岳
委員	副研究科長(学術・社会連携担当)	宇田川眞行
	行動科学講座選出	浮穴 和義
	環境自然科学講座選出	乾 雅祝
	放射線取扱副主任者	櫻井 直樹
	放射線障害防止管理者	井上 純

プログラム委員会

委員長		山崎 昌廣
委員	地域文化プログラム	水羽 信男
	〃	ヴァイオリン、ピアノ
	社会文化プログラム	横藤田 誠
	〃	市川 浩
	人間文化プログラム	高橋 憲雄
	〃	大池真知子
	言語文化プログラム	小川 泰生
	〃	谷本 秀康
	行動科学プログラム	入戸 野宏
	〃	小池 聖一
	スポーツ科学プログラム	和田 正信
	〃	関矢 寛史
	生命科学プログラム	古川 康雄
	〃	浮穴 和義
	数理情報科学プログラム	浅野 晃
	〃	宮尾 淳一
	総合物理プログラム	乾 雅祝
	〃	田口 健
	自然環境科学プログラム	佐久川 弘
	〃	開発 一郎

※上段はプログラム主任

評価委員会

委員長		岩永 誠
委員	人間科学部門	安仁屋宗正
	〃	古川康雄
	環境科学部門	秋葉 節夫
	〃	海堀 正博
	文明科学部門	田中 暁
	〃	町田 宗鳳
	研究科長補佐	岩永 誠
	人事委員会選出	市川 浩
	教務委員会選出	田中 暁
	21世紀科学プロジェクト委員会選出	岩永 誠
	プログラム委員会選出	乾 雅祝
	支援室長	井上 純

国際交流委員会

委員長	小川 泰生
委員	教務委員会選出
	早瀬 光司
	平手 友彦
	プログラム委員会選出
	大池真知子
	古川 康雄
	留学生センター運営委員
	井口 容子
	留学生担当教員
	河本 尚枝
	広島大学短期交換留学プログラム実施部会委員
	小川 泰生

学務委員会

委員長	林 光緒
委員	哲学・思想・宗教, 言語, 文学
	堀江 剛
	歴史学, 地理学・地域学, 人類学, 地域社会文化
	浅野 敏久
	経済・技術・統計, 政治学, 法学, 社会学
	中坂恵美子
	心理学・行動科学
	西村 雄郎
	健康スポーツ学, スポーツ実習
	坂田 省吾
	数学, 数理科学
	橋原 孝博
	情報学
	中木 達幸
	物理学
	森本 康彦
	化学
	荻田 典男
	生物学
	山崎 岳
	地学・天文学, 環境科学, 科学論
	山田 俊弘
	外国語
	小野寺真一
	山田 純
	島谷 謙

就職委員会

委員長	浦 光博
委員	人間科学部門
	堀江 剛
	環境科学部門
	浅野 敏久
	文明科学部門
	田原 光広
	地域文化プログラム
	青木 利夫
	社会文化プログラム
	秋葉 節夫
	人間文化プログラム
	島谷 謙
	言語文化プログラム
	平手 友彦
	行動科学プログラム
	浦 光博
	スポーツ科学プログラム
	磨井 祥夫
	生命科学プログラム
	斎藤祐見子
	数理情報科学プログラム
	浅野 晃
	総合物理プログラム
	戸田 昭彦
	自然環境科学プログラム
	竹田 一彦

研究科入試委員会

委員長	戸田 昭彦
委員	生命科学研究領域
	伊藤 隆夫
	人間行動研究領域
	坂田 桐子
	身体運動科学研究領域
	橋原 孝博
	言語研究領域
	井口 容子
	人間存在研究領域
	桑島 秀樹
	自然環境研究領域
	小野寺真一
	総合物理研究領域
	宗尻 修治
	情報システム環境研究領域
	長登 康
	社会環境研究領域
	西村 雄郎
	文明史基礎研究領域
	辻 学
	地域研究領域
	丸田 孝志
	委員長推薦
	佐竹 昭

研究科入学試験合格者判定委員会

委員長	(研究科長)	樫原 修
委員	(副研究科長(大学院担当), 教務委員長)	吉田 光演
	(部門長)	
	人間科学部門	安仁屋宗正
	環境科学部門	秋葉 節夫
	文明科学部門	田中 暁
	入学試験委員会 (委員長)	戸田 昭彦
	入学試験委員会 生命科学研究領域	伊藤 隆夫
	人間行動研究領域	坂田 桐子
	身体運動科学研究領域	橋原 孝博
	言語研究領域	井口 容子
	人間存在研究領域	桑島 秀樹
	自然環境研究領域	小野寺真一
	総合物理研究領域	宗尻 修治
	情報システム環境研究領域	長登 康
	社会環境研究領域	西村 雄郎
	文明史基礎研究領域	辻 学
	地域研究領域	丸田 孝志
	委員長推薦	佐竹 昭

学部入試委員会

委員長	安野 正明
委員	地域文化プログラム
	社会文化プログラム
	人間文化プログラム
	言語文化プログラム
	行動科学プログラム
	スポーツ科学プログラム
	生命科学プログラム
	数理情報科学プログラム
	総合物理プログラム
	自然環境科学プログラム

学部卒業生判定委員会

委員長 (学部長)	榎原 修
委員 (副学部長(学部担当), プログラム委員長)	山崎 昌廣
	地域文化プログラム主任
	社会文化プログラム主任
	人間文化プログラム主任
	言語文化プログラム主任
	行動科学プログラム主任
	スポーツ科学プログラム主任
	生命科学プログラム主任
	数理情報科学プログラム主任
	総合物理プログラム主任
	自然環境科学プログラム主任

研究倫理委員会

委員長	船瀬 広三
委員	人間科学部門
	環境科学部門
	文明科学部門

学部入試試験合格者判定委員会

委員長 (学部長)	榎原 修
委員 (副学部長(学部担当), プログラム委員長)	山崎 昌廣
	地域文化プログラム主任
	社会文化プログラム主任
	人間文化プログラム主任
	言語文化プログラム主任
	行動科学プログラム主任
	スポーツ科学プログラム主任
	生命科学プログラム主任
	数理情報科学プログラム主任
	総合物理プログラム主任
	自然環境科学プログラム主任

入学試験委員会委員長

委員長	安野 正明
委員	地域文化プログラム
	社会文化プログラム
	人間文化プログラム
	言語文化プログラム
	行動科学プログラム
	スポーツ科学プログラム
	生命科学プログラム
	数理情報科学プログラム
	総合物理プログラム
	自然環境科学プログラム

人事特別委員会

委員長 (副研究科長(学術・社会連携担当))	宇田川眞行
委員 (副研究科長(大学院担当))	吉田 光演
	(副研究科長(学部担当))
	(副研究科長(総務担当))
人事委員会委員長	井上 純
人事委員会委員(教授会選出)	佐竹 昭
人事委員会委員(教授会選出)	市川 浩
人事委員会委員(教授会選出)	於保 幸正
人事委員会委員(教授会選出)	星野 公三
人事委員会委員(教授会選出)	三木 直大

平成 22 年度

代議員会

研究科長	檜原 修
副研究科長 (学術・社会連携担当)	宇田川眞行
(大学院担当)	吉田 光演
(学部担当)	岩永 誠
(総務担当)	嶋市 敬
研究科長補佐	田中 暁
(部門長)	林 光緒
人間科学部門	河原 明
環境科学部門	秋葉 節夫
文明科学部門	町田 宗鳳
(講座主任)	
行動科学講座	坂田 省吾
人間文化研究講座	青木 孝夫
環境自然科学講座	浴野 稔一
情報システム研究講座	中村 純
社会文明研究講座	秋葉 節夫
地域研究講座	三木 直大
(委員長等)	
人事委員会委員長	坂田 省吾
教務委員会委員長	吉田 光演
21 世紀科学プロジェクト委員会委員長	佐竹 昭
広報・出版委員会委員長	古川 康雄

安全衛生委員会

委員長	山崎 岳
委員	長谷川 博
	桑島 秀樹
	田中 晋平
	平山 恭之
	市川 浩
	丸田 孝志
	高橋 浩樹
	竹田 一彦
	根平 達夫

教務委員会

委員長	吉田 光演
委員 人間科学部門長	河原 明
環境科学部門長	秋葉 節夫
文明科学部門長	町田 宗鳳
生命科学研究領域	斎藤祐見子
人間行動研究領域	浦 光博
身体運動科学研究領域	橋原 孝博
言語研究領域	安仁屋宗正
人間存在研究領域	古東 哲明
自然環境研究領域	開発 一郎
総合物理研究領域	田中 晋平
情報システム環境研究領域	鈴木 俊哉
社会環境研究領域	早瀬 光司
文明史基礎研究領域	平手 友彦
地域研究領域	岡本 勝
21 世紀科学プロジェクト委員会委員長	佐竹 昭

21 世紀科学プロジェクト委員会

委員長	佐竹 昭
委員 (副研究科長(大学院担当), 教務委員長)	吉田 光演
	佐竹 昭
	岩永 誠
	於保 幸正
	布川 弘
	平手 友彦

財務委員会

委員長	佐野真理子
委員 副研究科長(学術・社会連携担当)	宇田川眞行
行動科学講座	林 光緒
人間文化研究講座	石川 雅隆
環境自然科学講座	佐藤 高晴
情報システム研究講座	田島 浩一
社会文明研究講座	材木 和雄
地域研究講座	三木 直大

人事委員会

委員長	(2次選挙)	坂田 省吾
委員	(教授会選出)	佐竹 昭
	〃	佐藤 正樹
	〃	戸田 昭彦
	〃	山崎 岳
	教務委員会委員長	吉田 光演
	21世紀科学プロジェクト委員会委員長	佐竹 昭
	プログラム委員会委員長	岩永 誠
	学務委員会委員長	林 光緒
	行動科学講座	和田 正信
	人間文化研究講座	安仁屋宗正
	環境自然科学講座	久我ゆかり
	情報システム研究講座	中村 純
	社会文明研究講座	早瀬 光司
	地域研究講座	水羽 信男

放射性同位元素委員会

委員長	放射線取扱主任者	山崎 岳
委員	副研究科長(学術・社会連携担当)	宇田川眞行
	行動科学講座選出	山崎 岳
	環境自然科学講座選出	乾 雅祝
	放射線取扱副主任者	櫻井 直樹
	放射線障害防止管理者	嶋市 敬

評価委員会

委員長		田中 暁
委員	人間科学部門	河原 明
	〃	高橋 憲雄
	環境科学部門	秋葉 節夫
	〃	畠中 憲之
	文明科学部門	町田 宗鳳
	〃	要田 圭治
	研究科長補佐	田中 暁
	人事委員会選出	戸田 昭彦
	教務委員会選出	河原 明
	21世紀科学プロジェクト委員会選出	平手 友彦
	プログラム委員会選出	乾 雅祝
	支援室長	嶋市 敬

広報・出版委員会

委員長		古川 康雄
委員	人間科学部門	杉下、ビーカーマコト
	〃	入戸野 宏
	〃	船瀬 広三
	環境科学部門	海堀 正博
	〃	匹田 篤
	〃	河本 尚枝
	文明科学部門	島谷 謙
	〃	青木 利夫
	〃	荒見 泰史
	数理情報科学プログラム	今野 均

プログラム委員会

委員長		岩永 誠
委員	地域文化プログラム	ワグイ、アサヒ、知ト
	〃	長田 浩彰
	社会文化プログラム	市川 浩
	〃	吉村慎太郎
	人間文化プログラム	辻 学
	〃	大池真知子
	言語文化プログラム	谷本 秀康
	〃	井口 容子
	行動科学プログラム	坂田 省吾
	〃	小池 聖一
	スポーツ科学プログラム	和田 正信
	〃	長谷川 博
	生命科学プログラム	浮穴 和義
	〃	河原 明
	数理情報科学プログラム	浅野 晃
	〃	高橋 浩樹
	総合物理プログラム	乾 雅祝
	〃	田口 健
	自然環境科学プログラム	奥田 敏統
	〃	佐久川 弘

※上段はプログラム主任

国際交流委員会

委員長	小川 泰生
委員	教務委員会選出
	平手 友彦
	田中 晋平
	プログラム委員会選出
	ゆいあが'ル,加'ド
	和田 正信
	留学生センター運営委員
	(未定)
	留学生担当教員
	河本 尚枝
	広島大学短期交換留学プログラム実施部会委員
	小川 泰生

学務委員会

委員長	林 光緒
委員	哲学・思想・宗教, 言語, 文学
	堀江 剛
	歴史学, 地理学・地域学, 人類学, 地域社会文化
	布川 弘
	経済・技術・統計, 政治学, 法学, 社会学
	安野 正明
	〃
	西村 雄郎
	心理学・行動科学
	浦 光博
	健康スポーツ学, スポーツ実習
	橋原 孝博
	数学, 数理科学
	中木 達幸
	情報学
	原田 耕一
	物理学
	荻田 典男
	化学
	山崎 岳
	生物学
	久我ゆかり
	地学・天文学, 環境科学, 科学論
	小野寺真一
	外国語
	的場いづみ
	〃
	小川 泰生

就職委員会

委員長	市川 浩
委員	人間科学部門
	斎藤祐見子
	環境科学部門
	浅野 敏久
	文明科学部門
	青木 利夫
	地域文化プログラム
	池田 佳代
	社会文化プログラム
	横藤田 誠
	人間文化プログラム
	島谷 謙
	言語文化プログラム
	平手 友彦
	行動科学プログラム
	市橋 勝
	スポーツ科学プログラム
	磨井 祥夫
	生命科学プログラム
	斎藤祐見子
	数理情報科学プログラム
	浅野 晃
	総合物理プログラム
	浴野 稔一
	自然環境科学プログラム
	海堀 正博

研究科入試委員会

委員長	山田 純
委員	生命科学研究領域
	伊藤 隆夫
	人間行動研究領域
	杉浦 義典
	身体運動科学研究領域
	橋原 孝博
	言語研究領域
	安仁屋宗正
	人間存在研究領域
	桑島 秀樹
	自然環境研究領域
	小澤 久
	総合物理研究領域
	宗尻 修治
	情報システム環境研究領域
	大東 俊博
	社会環境研究領域
	西村 雄郎
	文明史基礎研究領域
	吉村慎太郎
	地域研究領域
	丸田 孝志
	委員長推薦
	佐竹 昭

研究科入学試験合格者判定委員会

委員長	(研究科長)	樫原 修
委員	(副研究科長(大学院担当), 教務委員長)	吉田 光演
	(部門長)	
	人間科学部門	河原 明
	環境科学部門	秋葉 節夫
	文明科学部門	町田 宗鳳
	入学試験委員会 (委員長)	山田 純
	入学試験委員会 生命科学研究領域	伊藤 隆夫
	人間行動研究領域	杉浦 義典
	身体運動科学研究領域	橋原 孝博
	言語研究領域	安仁屋宗正
	人間存在研究領域	桑島 秀樹
	自然環境研究領域	小澤 久
	総合物理研究領域	宗尻 修治
	情報システム環境研究領域	大東 俊博
	社会環境研究領域	西村 雄郎
	文明史基礎研究領域	吉村慎太郎
	地域研究領域	丸田 孝志
	委員長推薦	佐竹 昭

学部入試委員会

委員長	山崎 昌廣
委員	地域文化プログラム
	社会文化プログラム
	人間文化プログラム
	言語文化プログラム
	行動科学プログラム
	スポーツ科学プログラム
	生命科学プログラム
	数理情報科学プログラム
	総合物理プログラム
	自然環境科学プログラム

学部卒業生判定委員会

委員長 (学部長)	榎原 修
委員 (副学部長(学部担当), プログラム委員長)	岩永 誠
	地域文化プログラム主任
	社会文化プログラム主任
	人間文化プログラム主任
	言語文化プログラム主任
	行動科学プログラム主任
	スポーツ科学プログラム主任
	生命科学プログラム主任
	数理情報科学プログラム主任
	総合物理プログラム主任
	自然環境科学プログラム主任

研究倫理委員会

委員長	船瀬 広三
委員	人間科学部門
	環境科学部門
	文明科学部門

学部入学試験合格者判定委員会

委員長 (学部長)	榎原 修
委員 (副学部長(学部担当), プログラム委員長)	岩永 誠
	地域文化プログラム主任
	社会文化プログラム主任
	人間文化プログラム主任
	言語文化プログラム主任
	行動科学プログラム主任
	スポーツ科学プログラム主任
	生命科学プログラム主任
	数理情報科学プログラム主任
	総合物理プログラム主任
	自然環境科学プログラム主任

入学試験委員会委員長

委員長	山崎 昌廣
委員	地域文化プログラム
	社会文化プログラム
	人間文化プログラム
	言語文化プログラム
	行動科学プログラム
	スポーツ科学プログラム
	生命科学プログラム
	数理情報科学プログラム
	総合物理プログラム
	自然環境科学プログラム

人事特別委員会

委員長 (副研究科長(学術・社会連携担当))	宇田川 眞行
委員 (副研究科長(大学院担当))	吉田 光演
	(副研究科長(学部担当))
	(副研究科長(総務担当))
人事委員会委員長	坂田 省吾
人事委員会委員(教授会選出)	佐竹 昭
人事委員会委員(教授会選出)	佐藤 正樹
人事委員会委員(教授会選出)	戸田 昭彦
人事委員会委員(教授会選出)	山崎 岳

平成 23 年度

研究科代議員会

研究科長	檜原 修
副研究科長 (学術・社会連携担当)	宇田川眞行
(大学院担当)	吉田 光演
(学部担当)	岩永 誠
(総務担当)	嶋市 敬
研究科長補佐	田中 暁
(部門長)	林 光緒
人間科学部門	河原 明
環境科学部門	於保 幸正
文明科学部門	町田 宗鳳
(講座主任)	
行動科学講座	船瀬 広三
人間文化研究講座	青木 孝夫
環境自然科学講座	浴野 稔一
情報システム研究講座	中村 純
社会文明研究講座	秋葉 節夫
地域研究講座	三木 直大
(委員長)	
人事委員会委員長	坂田 省吾
教務委員会委員長	吉田 光演
21 世紀科学プロジェクト委員会委員長	佐竹 昭
広報・出版委員会委員長	古川 康雄

安全衛生委員会

委員長	山崎 岳
委員	長谷川 博
	堀江 剛
	田中 晋平
	平山 恭之
	市川 浩
	丸田 孝志
	高橋 浩樹
	竹田 一彦
	根平 達夫

教務委員会

委員長	吉田 光演
委員 人間科学部門長	河原 明
環境科学部門長	於保 幸正
文明科学部門長	町田 宗鳳
生命科学研究領域	浮穴 和義
人間行動研究領域	浦 光博
身体運動科学研究領域	橋原 孝博
言語研究領域	安仁屋宗正
人間存在研究領域	古東 哲明
自然環境研究領域	開発 一郎
総合物理研究領域	田中 晋平
情報システム環境研究領域	稲垣 知宏
社会環境研究領域	早瀬 光司
文明史基礎研究領域	武田 紀子
地域研究領域	岡本 勝
21 世紀科学プロジェクト委員会委員長	佐竹 昭

21 世紀プロジェクト委員会

委員長	佐竹 昭
委員 (副研究科長(大学院担当), 教務委員長)	吉田 光演
	佐竹 昭
	岩永 誠
	於保 幸正
	布川 弘
	平手 友彦

財務委員会

委員長	佐野真理子
委員 副研究科長(学術・社会連携担当)	宇田川眞行
行動科学講座	磨井 祥夫
人間文化研究講座	谷本 秀康
環境自然科学講座	佐藤 高晴
情報システム研究講座	岸場 清悟
社会文明研究講座	材木 和雄
地域研究講座	三木 直大

人事委員会

委員長	(2次選挙)	坂田 省吾
委員	(教授会選出)	佐竹 昭
	〃	佐藤 正樹
	〃	戸田 昭彦
	〃	山崎 岳
	教務委員会委員長	吉田 光演
	21世紀科学プロジェクト委員会委員長	佐竹 昭
	プログラム委員会委員長	岩永 誠
	研究科長が必要と認めた者	林 光緒
	行動科学講座	和田 正信
	人間文化研究講座	安仁屋宗正
	環境自然科学講座	久我ゆかり
	情報システム研究講座	西村 浩二
	社会文明研究講座	早瀬 光司
	地域研究講座	安野 正明

放射性同位元素委員会

委員長	放射線取扱主任者	山崎 岳
委員	副研究科長(学術・社会連携担当)	宇田川眞行
	行動科学講座選出	山崎 岳
	環境自然科学講座選出	梶原 行夫
	放射線取扱副主任者	櫻井 直樹
	放射線障害防止管理者	嶋市 敬

評価委員会

委員長		田中 暁
委員	人間科学部門 (部門長)	河原 明
	〃	高橋 憲雄
	環境科学部門 (部門長)	於保 幸正
	〃	嶋中 憲之
	文明科学部門 (部門長)	町田 宗鳳
	〃	要田 圭治
	研究科長補佐	田中 暁
	人事委員会選出	戸田 昭彦
	教務委員会選出	河原 明
	21世紀科学プロジェクト委員会選出	平手 友彦
	プログラム委員会選出	辻 学
	支援室長	嶋市 敬

広報・出版委員会

委員長		古川 康雄
委員	人間科学部門	入戸野 宏
	〃	山崎 昌廣
	〃	河本 真理
	環境科学部門	海堀 正博
	〃	匹田 篤
	〃	河本 尚枝
	文明科学部門	島谷 謙
	〃	城戸 光世
	〃	隠岐さや香
	数理情報科学プログラム	市原 直幸

プログラム委員会

委員長		岩永 誠
委員	地域文化プログラム	長田 浩彰
	〃	浅野 敏久
	社会文化プログラム	吉村慎太郎
	〃	西村 雄郎
	人間文化プログラム	辻 学
	〃	千川 哲生
	言語文化プログラム	井口 容子
	〃	城戸 光世
	行動科学プログラム	坂田 省吾
	〃	岩田 賢司
	スポーツ科学プログラム	橋原 孝博
	〃	長谷川 博
	生命科学プログラム	河原 明
	〃	石田 敦彦
	数理情報科学プログラム	栗田多喜夫
	〃	高橋 浩樹
	総合物理プログラム	石坂 智
	〃	宗尻 修治
	自然環境科学プログラム	海堀 正博
	〃	奥田 敏統

※上段はプログラム主任

国際交流委員会

委員長	小川 泰生
委員	教務委員会選出
	武田 紀子
	田中 晋平
	プログラム委員会選出
	井口 容子
	坂田 省吾
	留学生担当教員
	河本 尚枝
	広島大学短期交換留学プログラム実施部会委員
	小川 泰生

就職委員会

委員長	市川 浩
委員	人間科学部門
	斎藤祐見子
	環境科学部門
	佐々木 宏
	文明科学部門
	青木 利夫
	地域文化プログラム
	池田 佳代
	社会文化プログラム
	横藤田 誠
	人間文化プログラム
	島谷 謙
	言語文化プログラム
	谷本 秀康
	行動科学プログラム
	市橋 勝
	スポーツ科学プログラム
	和田 正信
	生命科学プログラム
	浮穴 和義
	数理情報科学プログラム
	今野 均
	総合物理プログラム
	浴野 稔一
	自然環境科学プログラム
	海堀 正博

研究科入学試験委員会

委員長	山田 純
委員	生命科学研究領域
	山崎 岳
	人間行動研究領域
	杉浦 義典
	身体運動科学研究領域
	関矢 寛史
	言語研究領域
	安仁屋宗正
	人間存在研究領域
	鎌田 勇
	自然環境研究領域
	小澤 久
	総合物理研究領域
	荻田 典男
	情報システム環境研究領域
	大東 俊博
	社会環境研究領域
	山崎 修嗣
	文明史基礎研究領域
	吉村慎太郎
	地域研究領域
	荒見 泰史
	委員長推薦
	佐竹 昭

研究科入学試験合格者判定委員会

委員長	(研究科長)	檜原 修
委員	(副研究科長(大学院担当), 教務委員長)	吉田 光演
	(部門長)	
	人間科学部門	河原 明
	環境科学部門	於保 幸正
	文明科学部門	町田 宗鳳
	入学試験委員会 (委員長)	山田 純
	入学試験委員会 生命科学研究領域	山崎 岳
	人間行動研究領域	杉浦 義典
	身体運動科学研究領域	関矢 寛史
	言語研究領域	安仁屋宗正
	人間存在研究領域	鎌田 勇
	自然環境研究領域	小澤 久
	総合物理研究領域	荻田 典男
	情報システム環境研究領域	大東 俊博
	社会環境研究領域	山崎 修嗣
	文明史基礎研究領域	吉村慎太郎
	地域研究領域	荒見泰史
	委員長推薦	佐竹 昭

学部入学試験委員会

委員長	岡本 勝
委員	地域文化プログラム
	的場いづみ
	社会文化プログラム
	材木 和雄
	人間文化プログラム
	堀江 剛
	言語文化プログラム
	町田 章
	行動科学プログラム
	浦 光博
	スポーツ科学プログラム
	関矢 寛史
	生命科学プログラム
	古川 康雄
	数理情報科学プログラム
	島 唯史
	総合物理プログラム
	東谷 誠二
	自然環境科学プログラム
	早瀬 光司

学部卒業生判定委員会

委員長	(学部長)	檜原 修
委員	(副学部長(学部担当), プログラム委員長)	岩永 誠
	地域文化プログラム主任	長田 浩彰
	社会文化プログラム主任	吉村慎太郎
	人間文化プログラム主任	辻 学
	言語文化プログラム主任	井口 容子
	行動科学プログラム主任	坂田 省吾
	スポーツ科学プログラム主任	橋原 孝博
	生命科学プログラム主任	河原 明
	数理情報科学プログラム主任	栗田多喜夫
	総合物理プログラム主任	石坂 智
	自然環境科学プログラム主任	海堀 正博

研究倫理委員会

委員長		橋原 孝博
委員	人間科学部門	堀江 剛
	環境科学部門	日下部眞一
	文明科学部門	佐藤 正樹

学部入学試験合格者判定委員会

委員長	(学部長)	檜原 修
委員	(副学部長(学部担当), プログラム委員長)	岩永 誠
	地域文化プログラム主任	長田 浩彰
	社会文化プログラム主任	吉村慎太郎
	人間文化プログラム主任	辻 学
	言語文化プログラム主任	井口 容子
	行動科学プログラム主任	坂田 省吾
	スポーツ科学プログラム主任	橋原 孝博
	生命科学プログラム主任	河原 明
	数理情報科学プログラム主任	栗田多喜夫
	総合物理プログラム主任	石坂 智
	自然環境科学プログラム主任	海堀 正博
入学試験委員会委員長		岡本 勝
委員	地域文化プログラム	的場いづみ
	社会文化プログラム	材木 和雄
	人間文化プログラム	堀江 剛
	言語文化プログラム	町田 章
	行動科学プログラム	浦 光博
	スポーツ科学プログラム	関矢 寛史
	生命科学プログラム	古川 康雄
	数理情報科学プログラム	島 唯史
	総合物理プログラム	東谷 誠二
	自然環境科学プログラム	早瀬 光司

人事特別委員会

委員長	(副研究科長(学術・社会連携担当))	宇田川眞行
委員	(副研究科長(大学院担当))	吉田 光演
	(副研究科長(学部担当))	岩永 誠
	(副研究科長(総務担当))	嶋市 敬
	人事委員会委員長	坂田 省吾
	人事委員会委員(教授会選出)	佐竹 昭
	人事委員会委員(教授会選出)	佐藤 正樹
	人事委員会委員(教授会選出)	戸田 昭彦
	人事委員会委員(教授会選出)	山崎 岳

当初予算額（平成21年度～23年度）

（単位：円）

表5-2-2 予算および決算

目的別	補助科目	予算科目名	23年度予算額	22年度予算額	21年度予算額
教育経費	基盤教育費	学士課程基盤教育費	8,580,000	8,686,000	47,000,000
		学士課程基盤教育費（研究生分）	83,000	15,000	0
		学士課程基盤教育費（科目等履修生分）	164,000	159,000	182,000
		学士課程基盤教育費（留学生分）	70,000	80,000	90,000
	教育特別経費	新入生オリエンテーション経費	1,497,000	1,536,000	1,536,000
		入学式・学位記授与式経費	128,000	128,000	104,000
		就職関係経費	605,000	600,000	566,000
		学生支援関係経費	84,000	80,000	179,000
		教務関係特別経費	813,000	809,000	840,000
		講師等経費（旅費）	776,000	7,067,000	7,175,000
		入学試験経費	221,000	290,000	320,000
		入学試験経費（大学院）	468,000	468,000	523,000
	公開講座実施経費	47,000	50,000	52,000	
	裁量経費	部局長裁量経費（教育）	7,659,000	8,310,000	8,451,000
(小計)		21,195,000	28,278,000	67,018,000	
研究経費	基盤研究費	教育研究基盤経費（研究費積算分）	49,470,000	49,180,000	51,850,000
		教育研究基盤経費（大学院教育費積算分）	35,266,000	32,732,000	30,960,000
		教育研究基盤経費（大学院教育費積算分） （研究生）	280,000	288,000	189,000
		教育研究基盤経費（大学院教育費積算分） （科目等履修生）	28,000	28,000	33,000
		教育研究基盤経費（大学院教育費積算分） （留学生）	2,820,000	2,390,000	1,830,000
	研究特別経費	電子ジャーナル等経費	0	△ 1,513,000	0
		アウトプット施設等経費	1,500,000	1,400,000	2,111,000
	裁量経費	部局長裁量経費（研究）	3,305,000	2,144,000	517,000
	(小計)		92,669,000	86,649,000	87,490,000
教育研究経費	教育研究経費	広報関係経費	4,500,000	4,010,000	3,990,000
		点検・評価関係経費	0	312,000	1,174,000
		安全管理関係経費	150,000	200,000	250,000
	(小計)		4,650,000	4,522,000	5,414,000
計			118,514,000	119,449,000	159,922,000

(単位：円)

目的別	補助科目	予算科目名	23年度予算額	22年度予算額	21年度予算額
非常勤教員人件費	非常勤講師	非常勤講師	3,227,000	75,482,000	76,631,000
	TA(ティーチングアシスタント)	TA(ティーチングアシスタント)	2,621,000	3,217,000	4,909,000
	RA(リサーチアシスタント)	RA(リサーチアシスタント)	1,443,000	3,367,000	833,000
	(小計)		7,291,000	82,066,000	82,373,000
非常勤職員人件費	技能補佐員(時間給)	技能補佐員(時間給)	413,000	419,000	425,000
	(小計)		413,000	419,000	425,000
管理的経費	消耗品費	消耗品費	3,295,000	3,345,000	3,396,000
		定期刊行物・消耗図書	753,000	764,000	776,000
	備品費	備品費	472,000	479,000	486,000
	旅費交通費	国内旅費	660,000	670,000	680,000
		交通費	612,000	621,000	630,000
	通信運搬費	運搬費	102,000	104,000	106,000
	賃借料	複写機借上	234,000	238,000	242,000
		その他賃借料	1,233,000	1,252,000	1,271,000
	車両燃料費	車両燃料費	56,000	57,000	58,000
	福利厚生費	福利厚生費	297,000	302,000	307,000
	保守費	複写機保守費	2,617,000	2,657,000	2,697,000
		建物・施設保守費	979,000	994,000	1,009,000
		設備・備品等保守	1,694,000	1,720,000	1,746,000
	修繕費	備品修繕費	462,000	469,000	476,000
		その他修繕費	462,000	469,000	476,000
	損害保険料	損害保険料	138,000	138,000	138,000
	諸会費	諸会費	10,000	10,000	10,000
	雑費	各種業務委託費	913,000	927,000	941,000
		環境整備費	1,101,000	1,118,000	1,135,000
		放送受信料	234,000	238,000	242,000
裁量経費	部局長裁量経費(管理)	2,260,000	2,295,000	2,330,000	
(小計)		18,584,000	18,867,000	19,152,000	
計			26,288,000	101,352,000	101,950,000
総合計			144,802,000	220,801,000	261,872,000

【21世紀科学プロジェクト・総合科学推進プロジェクト】

(単位：円)

プロジェクト名（一部略あり）	23年度予算額	22年度予算額	21年度予算額	備 考
【21】言語と情報の科学	540,000	600,000	800,000	
【21】瀬戸内の環境と文明	720,000	800,000	800,000	
【21】リスクを規定する要因	400,000	800,000	800,000	
【21】資源エネルギー問題	540,000	800,000	800,000	
【21】ヒロシマの復興	720,000	800,000	800,000	
【21】教養教育の進化と構造	1,100,000	1,390,000		
RM養成（大学分）			1,280,000	
【推進プロ】広島市民の「平和」意識		999,000		
【推進プロ】脳科学研究プロジェクト	800,000	1,000,000		
【推進プロ】新たに発見した脳内食欲調節因子の合成法の確立と生理機能解析	800,000			
【推進プロ】分子動力学アプローチによる群集行動の研究	800,000			
【推進プロ】「所有する幸せ」と「行動する幸せ」について、人がその一方を重視する要因・因子の解明と、それら要因・因子の日米間における比較考察に関する研究	800,000			
計	7,220,000	7,189,000	5,280,000	

【文理融合型リサーチマネージャー養成プロジェクト】

(単位：円)

予算科目名	23年度予算額	22年度予算額	備 考
学長裁量経費（教育）	4,286,000	3,842,000	
部局長裁量経費（教育）	4,090,400	5,495,000	
計	8,376,400	9,337,000	

自己点検

本研究科の予算については、毎年度、予算配分要項（財務委員会、研究科長室会議で審議）を定め、教育経費、研究経費、教育研究経費、非常勤教員人件費、非常勤職員人件費、管理的経費により編成を行っている。

学士課程基盤教育費は、教員現員数に基づき各講座へ比例配分、教育研究基盤経費（大学院積算分）は、大学院生の海外発表支援経費として一部控除後、主指導教員へ配分し、学生の指導環境を整えている。教育研究基盤経費（研究費積算分）は、実験系、非実験系の積算単価通りに教員へ配分し、教員の研究環境等の整備を行っている。

また、研究科独自プロジェクト（21世紀科学プロジェクト群、総合科学推進プロジェクト）については、各年度とも部局長裁量経費から措置を行い、新たに発展するプロジェクトの支援を行っている。さらに、文理融合型リサーチマネージャー養成プログラムについては、文部科学省の支援期間終了後（平成21年度）も、学長裁量経費及び部局長裁量経費で措置し、支援を行っている。

なお、経費の執行については、次頁のとおりであるが、毎年度各経理単位の責任者が、責任をもって、単年度で執行したり、総枠予算の利点を活かした複数年の計画的執行を行っている。

平成21年度～23年度決算額

(単位:円)

目的別	補助科目	予算科目名	23年度決算額	22年度決算額	21年度決算額	備考
教育経費	基盤教育費	学士課程基盤教育費	38,911,977	38,151,677	45,675,621	
	教育特別経費	外国人留学生教育経費	315,270	183,036	266,388	
		新入生オリエンテーション経費	1,475,776	1,250,800	1,439,195	
		入学式・学位記授与式経費	110,645	117,127	137,132	
		就職関係経費	637,837	479,847	248,587	
		学生支援関係経費	10,065	96,208	390,751	
		教務関係特別経費	740,058	790,937	758,566	
		学位論文審査協力経費	286,380	66,480	159,440	
		講師等経費(旅費)	994,780	912,940	7,590,000	
		大学入試センター試験経費	620,341	687,946	678,156	
		入学試験経費	154,552	105,526	124,878	
		入学試験経費(大学院)	496,070	465,748	456,675	
		公開講座実施経費	43,107	47,040	93,101	
		教員免許状更新講習経費	8,000	0	19,718	
		裁量経費	学長裁量経費(教育)	4,224,274	3,870,079	1,780,000
	部局長裁量経費(教育)		6,411,335	10,272,568	7,024,595	
	(小計)	55,440,467	57,497,959	66,842,803		
研究経費	基盤研究費	教育研究基盤経費	88,600,248	79,866,106	79,671,678	
	研究特別経費	アウトプット施設等経費	1,306,658	1,595,062	1,133,506	
		研究用設備保守費	0	0	56,370	
	裁量経費	特別経費(研究)	7,146,800	459,895	0	
		学長裁量経費(研究)	0	0	5,116,000	
		部局長裁量経費(研究)	16,904,159	14,708,172	22,629,938	
(小計)	113,957,865	96,629,235	108,607,492			
教育研究経費	教育研究経費	広報関係経費	3,877,172	3,799,978	3,822,382	
		点検・評価関係経費	0	0	1,225,539	
		教育研究設備費	3,246,000	4,693,500	2,126,198	
		社会連携関係経費	1,104,553	2,032,047	0	
		安全管理関係経費	339,240	147,220	538,920	
	(小計)	8,566,965	10,672,745	7,713,039		
計		177,965,297	164,799,939	183,163,334		

(単位:円)

目的別	補助科目	予算科目名	23年度決算額	22年度決算額	21年度決算額	備考
非常勤教員人件費	非常勤講師	非常勤講師	6,659,178	5,884,414	78,035,687	
	TA(ティーチングアシスタント)	TA(ティーチングアシスタント)	2,571,337	3,189,481	6,524,428	
	RA(リサーチアシスタント)	RA(リサーチアシスタント)	1,375,774	3,291,505	1,207,259	
	研究員(月給)	研究員(月給)	0	0	3,627,892	
	(小計)		10,606,289	12,365,400	89,395,266	
非常勤職員人件費	技能補佐員(時間給)	技能補佐員(時間給)	348,753	361,180	372,260	
	(小計)		348,753	361,180	372,260	
管理的経費	消耗品費	消耗品費	4,314,346	4,745,869	4,129,870	
		定期刊行物・消耗図書	301,686	299,883	329,070	
	備品費	備品費	623,950	2,717,350	1,946,018	
	旅費交通費	国内旅費	380,300	551,130	505,720	
		交通費	371,340	242,600	317,250	
	通信運搬費	運搬費	992	2,877	2,446	
	賃借料	複写機借上	97,644	97,644	106,842	
		その他賃借料	839,511	1,337,379	1,220,008	
	車両燃料費	車両燃料費	34,431	33,340	59,373	
	福利厚生費	福利厚生費	280,688	289,926	266,951	
	保守費	複写機保守費	1,421,610	1,444,208	1,456,630	
		建物・施設保守費	2,990,505	334,040	769,975	
		設備・備品等保守	1,097,000	933,575	366,090	
	修繕費	備品修繕費	254,520	248,052	646,170	
		その他修繕費	1,671,285	886,865	1,306,120	
	損害保険料	損害保険料	97,870	43,380	66,100	
	諸会費	諸会費	5,882	5,882	5,882	
		租税公課	43,200	13,200	51,000	
	雑費	各種業務委託費	1,328,974	868,296	1,012,972	
		環境整備費	1,894,766	948,199	728,295	
		放送受信料	139,752	128,680	115,821	
	裁量経費	学長裁量経費(管理)	0	0	420,000	
		部局長裁量経費(管理)	4,881,920	1,048,200	5,305,186	
(小計)		23,072,172	17,220,575	21,133,789		
計			34,027,214	29,947,155	110,901,315	
総合計			211,992,511	194,747,094	294,064,649	

表5-2-3 役職員・部門長・講座主任など一覧
役職員

役 職 名	平成21年度	平成22年度	平成23年度
研究科長・学部長	檜 原 修	檜 原 修	檜 原 修
副研究科長・副学部長（学術・社会連携担当）・評議員	宇田川 眞 行	宇田川 眞 行	宇田川 眞 行
副研究科長・副学部長（学部担当）	山 崎 昌 廣	岩 永 誠	岩 永 誠
副研究科長・副学部長（大学院担当）	吉 田 光 演	吉 田 光 演	吉 田 光 演
副研究科長・副学部長（総務担当）・支援室長	井 上 純	嶋 市 敬	嶋 市 敬
研究科長補佐	岩 永 誠	田 中 暁	田 中 暁
〃	林 光 緒	林 光 緒	林 光 緒

部門長

役 職 名	平成21年度	平成22年度	平成23年度
人間科学部門	安仁屋 宗 正	河 原 明	河 原 明
環境科学部門	秋 葉 節 夫	秋 葉 節 夫	於 保 幸 正
文明科学部門	田 中 暁	町 田 宗 鳳	町 田 宗 鳳

講座主任

役 職 名	平成21年度	平成22年度	平成23年度
行動科学講座	楠 戸 一 彦	坂 田 省 吾	船 瀬 広 三
人間文化研究講座	青 木 孝 夫	青 木 孝 夫	青 木 孝 夫
環境自然科学講座	於 保 幸 正	浴 野 稔 一	浴 野 稔 一
社会文明研究講座	成 定 薫	秋 葉 節 夫	秋 葉 節 夫
地域研究講座	田 中 暁	三 木 直 大	三 木 直 大
情報システム研究講座	中 村 純	中 村 純	中 村 純

プログラム主任

役 職 名	平成21年度	平成22年度	平成23年度
地域文化プログラム	水 羽 信 男	レヴィア ^レ ル ^ル アレス クロード ^ド	長 田 浩 彰
社会文化プログラム	横藤田 誠	市 川 浩	吉 村 慎 太 郎
人間文化プログラム	高 橋 憲 雄	辻 学	辻 学
言語文化プログラム	小 川 泰 生	谷 本 秀 康	井 口 容 子
行動科学プログラム	入 戸 野 宏	坂 田 省 吾	坂 田 省 吾
スポーツ科学プログラム	和 田 正 信	和 田 正 信	橋 原 孝 博
生命科学プログラム	古 川 康 雄	浮 穴 和 義	河 原 明
数理情報科学プログラム	浅 野 晃	浅 野 晃	栗 田 多 喜 夫
総合物理プログラム	乾 雅 祝	乾 雅 祝	石 坂 智
自然環境科学プログラム	佐久川 弘	奥 田 敏 統	海 堀 正 博

表5-2-4 審議機関

●教授会・代議員会等

(大学院総合科学研究科)

名 称	審 議 事 項	構 成 員	議 長	開催回数		
				平成21年度	平成22年度	平成23年度
研究科長室会議	・研究科及び学部の業務の企画立案等	研究科長 副研究科長 研究科長補佐 その他必要と認める者	研究科長	36回	29回	37回
研究科教授会	・長期的な目標、中期目標・中期計画及び年度計画における教育、研究及び社会貢献活動に関する事項 ・教員の人事に関する事項 ・学生の受入れと身分に関する事項 ・学位の授与に関する事項 ・教育課程に関する事項 ・研究活動に関する事項 ・社会貢献活動に関する事項 ・諸規則の制定及び改廃に関する事項 ・その他研究科長が必要と認めた事項	研究科長 副研究科長 研究科長補佐 研究科専任の教授 その他必要と認める者	研究科長	26回	22回	23回
研究科代議員会	・教員の人事に関する事項(採用・昇任・懲戒等を除く。) ・学生の受入れと身分に関する事項(入学・懲戒等を除く。) ・学位の授与に関する事項(博士の学位審査を除く。) ・教育課程に関する事項 ・研究活動に関する事項 ・社会貢献活動に関する事項 ・諸規則の制定及び改廃に関する事項 ・その他研究科長が必要と認めた事項	研究科長 副研究科長 研究科長補佐 部門長、講座主任 人事委員会、教務委員会、 21世紀科学プロジェクト委員会、 広報・出版委員会の各委員長 その他必要と認める者	研究科長	11回	11回	11回

(総合科学部)

名 称	審 議 事 項	構 成 員	議 長	開催回数		
				平成21年度	平成22年度	平成23年度
学部教授会	・長期的な目標、中期目標・中期計画及び年度計画における教育、研究及び社会貢献活動に関する事項 ・教員の人事に関する事項 ・学生の受入れと身分に関する事項 ・学位の授与に関する事項 ・教育課程に関する事項 ・社会貢献活動に関する事項 ・諸規則の制定及び改廃に関する事項 ・その他学部長が必要と認めた事項	学部長 副学部長 学部長補佐 教授(学部併任) その他必要と認める者	学 部 長	13回	13回	13回
学部代議員会	・学生の受入れ及び身分に関する事項(入学・懲戒等を除く。) ・教育課程に関する事項 ・社会貢献活動に関する事項 ・諸規則の制定及び改廃に関する事項 ・その他学部長が必要と認めた事項	学部長 副学部長 学部長補佐 プログラム主任 プログラム委員会委員長 広報・出版委員会委員長 その他必要と認める者	学 部 長	0回	0回	0回

表5-2-5 総合科学研究科・総合科学部FD実施状況

平成21年度

	開催日時	テーマ	参加人数	講師
第1回	21年6月24日(水) 15:00~16:15	地域文化プログラムにおける特別研究への取組	70人	フंक, カロリン・E. H.
		自然環境科学プログラムにおける特別研究への厳正な学位審査体制の確立の周知について		於保 幸正 吉田 光演
第2回	21年12月2日(水) 16:00~17:15	大学評価制度の新展開ー内部質保証システムの構築ー	81人	生和秀敏 (大学基準協会特任 研究員(広島大学名 誉教授))
第3回	22年3月3日(水) 13:00~14:20	超域科目の改革について	73人	水羽 信男
		教養教育の改革について		於保 幸正
		RM養成プログラム最終成果報告		吉田 光演
第4回	22年3月17日(水) 14:00~14:50	教養教育ガイダンスについて	70人	宇田川 眞行

平成22年度

	開催日時	テーマ	参加人数	講師
第1回	22年6月23日(水) 15:00~16:35	スポーツ科学プログラムにおける特別研究への	76人	磨井 祥夫
		総合物理プログラムにおける特別研究への取組		乾 雅祝
		コア科目について		吉田 光演
第2回	22年12月1日(水) 16:00~17:30	「我が身とそれに連なるものを守るためのシラバス: あるときは専守防衛の理論武装、あるときはメーカー公式ゲーム攻略本、またあるときは長い旅路のマイルストーン」	74人	増田 匡裕 (高知大学人文学部 人間文化学科)
第3回	22年3月2日(水) 16:00~17:40	21世紀科学プロジェクト群成果報告	56人	
		○教養教育研究開発プロジェクト		平手 友彦
		○総合科学研究プロジェクト ・言語と情報研究 ・文明と自然環境 ・リスク研究 ・資源エネルギー研究		山田 純 佐竹 昭 岩永 誠
		○平和科学研究プロジェクト ・ヒロシマの復興		於保 幸正 布川 弘

平成23年度

	開催日時	テーマ	参加人数	講師
第1回	23年7月13日(水) 15:00~16:30	「文理融合リベラルアーツと複数プログラム選択履修制度: 学生主体の新しい学士課程の創成」	60人	三浦 徹(お茶の水 女子大学文教育学 部)
第2回	23年11月30日 (水) 臨時学部教授会(拡大) 終了後~30分	「卒業生アンケート結果から見えること」	103人	海堀 正博 吉村 慎太郎 浅野 敏久 長谷川 博 (卒業生アンケート WG)
第3回	24年3月7日(水) 11:00~12:00	特定科目「掃除道入門」の教育的インパクト	76人	武田 修志(鳥取大 学教育センター)

表5-2-6 SD実施状況

平成21年度

回	実施日時	実施内容	参加者数
	当番グループ等		
1	平成21年5月28日（木） 11:00～12:00	講師 中坪孝之准教授 「東広島キャンパスの四季を楽しむ」	31
	環境自然科学講座事務室		
2	平成21年6月25日（木） 11:00～12:00	・会計に関するお知らせとお願い	33
	会計グループ		
3	平成21年7月23日（木） 11:00～12:00	・学生支援関係クイズ（学生関係基礎知識） ・大学生等における薬物乱用防止のための指導者研修会報告	33
	学生支援グループ		
4	平成21年9月24日（木） 11:00～12:00	・HP切り替え説明 ・新型インフルエンザ予防について ・パソコン講習について ・研修会等参加報告	30
	総務グループ		
5	平成21年10月22日（木） 11:00～12:00	講師 佐竹 昭教授 「イノシシによる農作物被害と、その対策の歴史」 ー特に江戸時代を中心にー	28
	地域研究講座事務室		
6	平成21年12月3日（木） 11:00～12:00	・平成21年度決算対応について ・納品検収等について ・出張によるマイレージの取り扱いについて ・「平成21年度大学職員セミナー：教員と職員の協働を可能にするSDのあり方」の報告について ・「第8回大学人コミュニケーション力養成セミナー」の報告について ・「発達障害のある学生支援研修会Part2」実施報告について	31
	会計グループ 学生支援グループ		
7	平成22年3月25日（木） 11:00～12:00	・先輩（退職職員）講話	30
	総務グループ		

平成22年度

回	実施日時	実施内容	参加者数
	当番グループ等		
1	平成22年5月27日（木） 11:00～12:00	講師 三戸里美主査・森川達也グループ員（情報化推進グループ） 「マイクロソフト社と包括ライセンス契約（Microsoft Campus Agreement）について」 講師 中村 純教授 「広島大学の情報環境と情報セキュリティについて」	31
	情報システム研究講座事務室		
2	平成22年6月24日（木） 11:00～12:00	・発注・納品検収について ・旅費支給の見直しについて	33
	運営支援グループ（財務主担当）		
3	平成22年7月22日（木） 11:00～12:00	・第2回 みんなでクイズ研修報告 ・研修会等参加報告	31
	学生支援グループ		
4	平成22年10月7日（木） 11:00～12:00	・研修会等参加報告	28
	運営支援グループ（総務・人事主担当）		
5	平成22年10月28日（木） 11:00～12:00	・仕事の合間のリフレッシュ ・休憩時間のリフレッシュ ・もしもの時の護身術	30
	行動科学講座事務室		
6	平成22年12月16日（木） 11:00～12:00	・平成22年度決算について ・謝金について ・内部監査の報告について ・財務実務研修の報告について	29
	運営支援グループ（財務主担当）		
7	平成23年3月24日（木） 11:00～12:00	・先輩（退職職員）講話	29
	学生支援グループ		

平成23年度

回	実施日時	実施内容	参加者数
	当番グループ等		
1	平成23年6月23日（木） 11:00～12:00	・SDアンケートの集計結果について ・SDの実施経緯等について ・平成23年度SDの実施計画について	29
	運営支援グループ 総括主査		
2	平成23年9月29日（木） 11:00～12:00	・コーチングについて ・就労管理システムの本稼働（10月～）に向けて	29
	運営支援グループ（総務・人事主担当）		
3	平成23年11月17日（木） 11:00～12:00	・論理的にプレゼンするには ・留学生の受入後の支援について	29
	人間文化研究講座事務室		
4	平成24年3月22日（木） 11:00～12:00	・椋原研究科長からのメッセージ	31
	運営支援グループ（財務主担当）		